

チャレンジ項目記入数 6

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・経営理念(社訓)を事務所内に掲示し社内で共有し、月一教養時に社員全員で唱和している。								8	9								17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・指定自動車教習所として、道路交通法をはじめ、各法令の遵守を徹底している。																	16
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・不正競争行為には、決して関与しないことを全職員に周知徹底している。										10							16
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・初心者、高齢者の事故率が社会環境に影響を及ぼすため、検定の合格率、事故率を把握し教習体制の整備に反映している。																16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・就業規則において、業務上知り得た機密や会社の不利益となる事を他に漏らす言動を禁止している。							8.2 8.3	9									16
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・個人情報の保護に関しては、施錠付きのキャビネットに保管し、使用済み個人情報はシレッダー処分している。職員の個人情報等も施錠し適切に保管している。																16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・卒業時にアンケートを実施し、以後の業務等に大きく反映している。																16	17
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●						5			8		10		12	13	14	15	16	17	
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●									9		11		13.1					16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●							8	9											17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●			1	2		5		8				12	13	14	15	16	17		
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・会社内にハラスメント防止の啓発ポスターを掲示し、ハラスメント対策を行っている。			4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・職員の心身の健康を確保するため、健康相談やメンタルケアカウンセリングを行っている。		3					8.8										
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・雇用形態に関わらず、勤続年数に関係なく基本給を統一し同じ賃金を得るよう処遇を行っている。				5.5			8.5		10.2 10.3								
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためにワークライフバランスを推進している。	●		・働き方改革を実施し残業を減らし、有給休暇、特別休暇の取得を奨励している。		3	5.5				8.5 8.8		10.3								
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・業務上必要な研修や講習の受講が義務化されており、費用の会社負担や経費の補助も行っている。			4	5.5			8	9									
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・職員の健康状態や体の様々な部位の病気の早期発見の為に、毎年、健康診断と別に超音波検診を全て会社負担により実施している。		3					8								17		
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・多様な人材(女性、障がい者、高齢者)が働きやすいよう労働環境を整えている。			4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		・教習者受付カウンターと職員事務室、職員同士の机に飛沫防止パーテーションを設置、定期的に窓の開放、消毒を実施している。また、教習車にはドライ純粋二酸化塩素バブリング燻蒸システムを設置している。		3					8	9.1		11	12						
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●									8	9.1		11	12						
	21	【プライム企業】 ・プライム企業に認定されている。	●					3	4			8	9		12							

チャレンジ項目記入数 6

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・各消耗品については、適切な処理を実施して環境汚染予防に取り組んでいる。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1					
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・自社の照明をLED化し、休憩時間や不使用の部屋は消灯を励行している。ガソリンは、自社のタンクから給油しており、毎月の使用量を把握している。						7.3						13								
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・教習車は、平成17年排ガス基準75%低減車であり、その他も最新基準に適合しており環境への悪影響を低減させた教習車を導入している、また、マフラー加速騒音規制適合車を導入しており、CO2削減に取り組んでいる。		2.4				7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15						
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・令和2年災害後に導入した教習車は平成17年排ガス基準75%低減車であり、その他も最新の基準に適合しており、環境への悪影響を低減させた教習車を導入している。また、マフラー加速騒音規制適合車を導入している。				6.6								14	15							
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・段ボール、雑誌、新聞紙を分類し、再資源化業者に回収を委託している。裏紙の活用、ごみ削減を職員全員に指示事項で呼びかけている。						9.4			12.2 12.4 12.5	14.1	15									
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●				2.4			6.1 6.3 6.4 6.6				11.5			14.1 14.2 14.3	15		17					
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・再生用紙やリサイクル用品の活用、事務用品にもグリーン用品を活用している。						9.4			12.4 12.5	13	14	15								
	29	【食品ロスの削減】 ・食品ロスの削減に取り組んでいる。	●			1	2			6.4					12.3		14	15		17					
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・敷地内の植樹や緑化を行い、水やり・草取り等の管理に取り組んでいる。									11.6 11.7		13.1 13.3		15		17					
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。	●							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3									
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・"伐って、使って、植えて、育てる"の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●						6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15							
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●						6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15							
	34	【海洋ごみ】 ・環境で分解にくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		・ペットボトル、キャップ、空き缶を分類し、専門の処理業者に回収を委託し、適切に処理している。										12.2 12.5		14								
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促している。	●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.2		13.1 13.3								
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●	●						7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13							17.2		

チャレンジ項目記入数 6

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・教習等サービスの水準の維持向上のため、卒業生にアンケートを行い、内容を全職員に回覧し今後の教習に活用している。			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		【予定】・2026年5月までに、建物全体をバリアフリーにする予定であり、60%は既に工事が済んでいる。									9.1	10	11.7					17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。	●			2.3 2.4						7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。	●							7							12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	●			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に取り組んでいる。	●			2.3 2.4							8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・近隣駅の除草作業や地域の保育園等の安全教室を通じて交通事故防止に貢献している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災・減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・毎年度に緊急時連絡表を作成配布し、災害発生時の職員の安全確認の体制を構築している。また、水害時対策として、社屋外部の設備を高い位置にする高上げブロックを設置している。				4							11.5		13.1		16		
	45	【防災・減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。	●			1.5		3	4							10.2	11.5		13.1		16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。	●											9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。	●		・令和3年7月より肥後銀行サスティナビリティ推進室の指導を仰ぎ、味岡建設企業グループでSDGsの普及を促進することを目指し、SDGs委員会を立ち上げ、取組みを推進している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。	●		・高校生の職場体験や未就学児の交通安全講習を実施することで、職業の学びの場を提供している。				4				8.6		10.2						17	
	49	【若者の地元定着】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。	●		・味岡建設企業グループと歩調を合わせて、SNSツールを積極的に使用して、グループ企業及び弊社の存在を県内の高校生、地元の高校生にアピールして、地元就職の促進に取り組んでいる。				4.4				8.5 8.6								17	
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。	●			2		4.3 4.4 4.5					8.6		10.2		12	13	14	15		17

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。